

2021年11月28日(48週目) 主日礼拝

「信仰生活の3要素」(Iテサ 5:16-18)

収穫感謝主日礼拝を捧げている。収穫感謝にふさわしく全てのことについて感謝することが出来るように。感謝できるのは、霊的に成長したことである。年に3回の祭り(過ぎ越し祭、五旬節、収穫感謝祭)がある。収穫感謝というのは、霊的にキリスト、神の国、再臨のことを言っている。キリストを信じて、私達を通して伝道・宣教がなっていく。テサロニケ教会の人は、イエス様がいつ再臨をするのかということに関心を持った。テサロニケ教会は、パウロが伝道によって建てた教会であるが、特に迫害がひどかった。それで、パウロが、テサロニケを去り、コリントに定住するようになった。パウロはテサロニケ教会が気がかりであり、テモテを視察させ、報告の結果として迫害の中でも愛がある教会であった。しかし、何もせずに再臨を待っている人もいるということであった。パウロは、正しい信仰生活をするべきだと言った。手紙の最後に信仰生活の3要素について語っている。

1.いつも喜んでいなさい	2.絶えず祈りなさい	3.すべての事について、感謝しなさい
<p>▲1 テサロニケ 5:16(いつも喜んでいなさい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも喜んでいるというのは、環境と関係ない事である。</li> <li>・救いについての関心を持っているといつも喜べる。</li> <li>・福音によって救われたことが最高の喜びである。</li> <li>・救われた喜びのゆえに死でさえも問題にならなかった。</li> </ul> <p>1)父なる神様—選び—エペソ 1:4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私達が救われたのは、父なる神様が私達を永遠に選んだ為(私達の行いではない)。</li> <li>・神様の関心は救いの中にある。</li> <li>・神様は確実に私達を選んで下さった。</li> <li>・キリストを私のために遣わして下さい。</li> </ul> <p>2)御子(キリスト)—ヨハネ 19:30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キリストが①罪、②サタン、③地獄、④律法、⑤神の怒りから解放した。</li> <li>・過去、現在、未来の全ての問題を解決して下さい。</li> </ul> <p>3)聖霊(印)-エペ 1:13(約束の聖霊をもって証印を押されました)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聖霊様としての証印を押されるようになった。</li> </ul> <p>4)ローマ 8:15</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・父なる神様をアバ父と呼ぶことが出来るようになった。</li> <li>・どんな迫害、心配も恐れる必要はない。</li> </ul> <p>5) I テサ 1:6</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聖霊による喜びがある。</li> <li>・救いを分かると喜びしかない。</li> <li>・ただキリストの信仰である。</li> <li>・三位一体の神様が私達と共にいる。</li> </ul>	<p>▲1 I テサ 5:17(絶えず祈りなさい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絶えず祈ることが出来るように。</li> <li>・救われた私達に神様が共におられることを認識する時に祈りすることが出来る。</li> <li>・キリストが聖霊として生きていることを認識する。</li> </ul> <p>1)同行、同居— I テサ 5:10(主とともに生きるためです。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・祈りが難しいのは、キリストといつも一緒にいることが分からない為である。</li> <li>・With、インマヌエル、Oneness を味わう。</li> <li>・キリストが 24 時、同行・同居しているのを認識する。</li> <li>・同行している事が分かるイエス様の人格が変わる。</li> <li>・キリストと結合したことを分かると力を与えられる。</li> </ul> <p>2) I コリ 3:16</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私が神の神殿である事を知らないのですかと言った。</li> <li>・祈りとは、神様との会話である。</li> <li>・内におられる聖霊を認識して、自分の関心をキリストに向けることが出来るように。</li> <li>・聖霊様と共に住まい、聖霊様と共に生きるように。</li> </ul> <p>3)人格—①聖なる、②愛</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キリストと同行することを分かると人格が変わる。</li> <li>・神様は、聖なるお方、愛のお方である。</li> <li>・墮落は行わないようになる(I テサ 4:7)。</li> <li>・人を赦し愛せるようになる(I テサ 4:9)。</li> <li>・御言葉を思い出す時に、御言葉の通りの人物となる。</li> </ul> <p>4)カーマタ 28:18、ピリピ 3:20、ヘブル 1:14</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キリストと共に生きる事を信じると力が生まれる。</li> <li>・御座の祝福を味わうとは、天においても地においても一切の力を持っている主と共にいる事を味わう事。</li> <li>・5つの確信を持つことが出来るように。</li> <li>・講壇メッセージを味わうことが出来るように。</li> </ul>	<p>▲1 テサ 5:18(すべての事について、感謝しなさい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感謝を捧げる中で、人格が変わるようになる。</li> <li>・伝道を基準にすると、感謝をすることが出来る。</li> <li>・問題が起こったことでもっと多くの伝道が出来る。</li> </ul> <p>1)1 テサ 4:16-17</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私達は世の終わりに復活して死なない体になる。</li> <li>・全てのことが伝道・宣教のためである。</li> </ul> <p>2)マタ 24:14-世界に福音が宣べ伝えられ終わりの日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝道と宣教のために生きるように。</li> <li>・感謝する時に伝道・宣教が出来る。</li> </ul> <p>3)伝道・宣教の歴史</p> <p>(1)AD30年~400年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弟子たちを通して、伝道・宣教をしていった。</li> <li>・AD313年にコンスタンティヌスがキリスト教国家にした。しかし、人々が伝道しなくなった。</li> </ul> <p>(2)AD400年~800年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修道士の人たちが伝道・宣教をしていった。</li> <li>・イギリス人が伝道してドイツまで伝道した。</li> <li>・ドイツがキリスト教国になる(神聖ローマ帝国)</li> </ul> <p>(3)AD800年~1200年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修道士が伝道をしなくなってしまった。</li> <li>・伝道しなくなり災いが起こる(他国からの攻撃)。</li> </ul> <p>(4)AD1200年~1600年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教会に経済が溢れたが修道士は清貧思想に陥る</li> <li>・律法主義のメッセージが主流となる。</li> <li>・伝道・宣教をしない為、災いが起こる(ペスト)。</li> </ul> <p>(5)1600年~2000年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝道・宣教をして多くの人が生かされた。</li> <li>・2000年代に伝道をしないから災い(コロナ等)。</li> <li>・私達は伝道・宣教の隊列に立っている事が感謝。</li> </ul> <p>4)天国に行く時に受ける報いは伝道の実(I テサ 2:17)</p> <p>▲結論—伝道宣教の流れの中に入っていくように。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝道キャンプ(磐田、大阪、大船渡)</li> </ul>

**現場地教会(2021年11月21日～2021年11月28日)**

**【賛美】「イエスわが王よ」**

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ  
 私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ  
 2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ  
 われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

**【使徒信条】**

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

**【メッセージ】 「信仰生活の3要素」(Iテサ 5:16-18)**

**【讚美】** 427 日ごと喜び

**【祈り】**

- ①教会の祈りの課題  
 1. 全聖徒が御座の祝福を味わう霊的見張り人となり、福音と祈りでミッションを掴み、日本と237に働く暗闇と霊的戦いができますように。  
 2. 全聖徒が霊的医者となり、霊的な病で死んでいく日本と237を、御言葉と祈りで癒すことができますように。  
 3. 全聖徒がキリストの霊的サミット大使となり、日本と237のサミットを原色福音で生かして育て、キリストの福音を伝えることによって、日本をキリスト教国家にできますように。  
 ※御国イザヤ牧師に聖霊充満と5つの力が与えられるように。  
 ②現場地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。  
 ③現場地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

**【フォーラム・祈り】**

**【主の祈り】**

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

<p><b>福音宣教教会 祈り題</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 福音宣教教会(ローマ 16:20、25-27)</li> <li>2. 主任牧師(使徒 6:4、アモ 3:7、創世記 18:17)</li> <li>3. レムナント(イザヤ 6:13)</li> <li>4. 癒し(使徒 19:8-20)</li> <li>5. 日本神学校、東日本神学校(Ⅱ列 6:8-23)</li> <li>6. 200 都市(創世記 41:36-38)</li> <li>7. 1000 大学(使徒 19:9-10)</li> <li>8. 日本総会教会(使徒 6:4、コロ 4:2-3)</li> <li>9. 日本 8000 教会(使徒 17:1-3)</li> <li>10. 本部、柳牧師(138、14、24、25、00、237)</li> <li>11. 日本をキリスト教国家とする(使徒 18:9-10)</li> <li>12. 237 宣教、太平洋・インド洋宣教(マタ 24:14、使徒 1:8)</li> </ol>
<p><b>契約の祈り (主日礼拝)</b></p>	
<p><b>お知らせ</b></p>	<p>○12月5日ー福音宣教教会宣教大会              ・洗礼を希望される方は、鶴見聖五牧師までお申し込み下さい。              ○クリスマス会ー12月25日14:00              ○重職者大会ー12月3日～4日              ○青少年修練会ー12月27日</p>
<p><b>福音宣教教会</b>              主管牧師：御国イザヤ              名古屋市中区栄5丁目23-8／tel:052-238-6003              主日(日曜)1部礼拝 7:00 / 2部礼拝 10:00 / 3部礼拝 12:00</p>	